

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	農村広場(春おか広場)					
(2)施設概要	①所在地 さいたま市見沼区宮ヶ谷765番地 ②施設の設置目的 農業経営の改善及び農業従事者の福祉の向上を図るとともに、地域住民との交流を深める。 ③施設の概要 面積 約37,000㎡ 主な施設 農業者総合研修施設(多目的ホール、会議室①、会議室②、会議室③、和室、生活改善室)、運動広場(ソフトボール場、多目的広場)、花畑、芝生広場					
(3)指定管理者	毎日・首都圏共同事業体					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度20,569千円／令和6年度20,660千円／令和7年度21,856千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 38,366人(前年度36,866人) ◇業務実施状況 施設運営業務 ・施設の貸出業務 施設維持管理業務 ・施設及び設備の維持管理及び保守点検に関する業務 ・植栽管理及び除草業務 その他の業務 ・設置目的達成に向けたPR・広報に関する業務 ・自主事業(定期教室、イベント、物販、その他) ②維持管理業務の状況 ◇保守管理業務 ◇日常清掃業務 ◇定期清掃業務 ◇植栽管理業務 ・芝生、植栽、花畑、樹木剪定等					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	1,335千円	(1,217千円)	人件費	11,720千円	(12,250千円)
	指定管理料	21,856千円	(20,660千円)	事務費	666千円	(595千円)
	その他収入	11千円	(7千円)	施設管理費	7,304千円	(7,581千円)
				事業費	599千円	(703千円)
	【自主事業】					
	収入	5,468千円	(4,721千円)	支出	3,698千円	(3,644千円)
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	11月・3月にアンケート回収強化週間を実施し、意見を聴取した。スタッフの対応・施設の使いやすさ・施設内外の美観において、90%以上の方に「非常に良い・良い」の評価をいただくことができた。市民からいただくご意見の中で、施設利用マナー等の案内掲示による注意喚起や備品配置案内の工夫に繋げた。					
(8)その他	犬の散歩マナー等の案内を分かりやすいデザインで掲示し、利用マナーの向上に努めた。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
施設の認知度向上・広報 (案内パンフレット作成、ホームページ・SNSの活用)	施設の認知度向上のため、パンフレット、ホームページ、SNS等の活用その他、周辺地域へのチラシ配付やWeb記事掲載、ローカルテレビへの取材依頼などを実施した。SNSは新たにInstagramも開始し、施設情報の発信に努めた。
自主事業の開催 (定期教室、イベント、物販、その他)	月1回程度の料理教室開催や定期教室の開催その他、認知症予防講演会を実施し、魅力的な施設運営に努めた。定期教室では新たにベリーダンス教室を開始し、多様な事業を提供することができた。 10月には第4回春おか祭を開催し、周辺地域や市内より参加者を募り、様々な地域団体や地元企業等と連携することができた。
地域との連携	教室事業やイベント事業での連携その他、地元中学校の職場体験事業に協力し、施設運営管理の体験を通して仕事について学ぶ機会を創出した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取り組み 市民の平等利用のため、施設貸出や利用に関する案内、電話対応、掲示等、わかりやすく丁寧に行うことを心がけた。備品配置に関して、わかりやすいよう図や写真で示す等工夫を行った。 ②経費削減に関する取り組み こまめな消灯やグリーンカーテン実施などエネルギー使用の節減に努めるほか、消耗品等の購入検討を行い、経費縮減を行った。定期点検や作業は計画通り実施し、安全管理を徹底した。 ③魅力ある施設運営に関する取り組み 施設の認知度向上や利用増に繋げるため、HPやSNS、掲示物や市報等を活用し情報発信を行った。SNSの発信媒体を増やすことで広く発信したほか、イベント時には地元メディアやWeb記事の掲載を依頼し、施設PRを行った。
--

(2) さいたま市の評価(評価担当課:経済局 農業政策部 見沼グリーンセンター)

総合評価 (B) ※A～D 1 項目別の評価 ①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取り組み 市民の平等利用に関する取り組みについては、特定の利用者のみを特別扱いせず、全ての施設利用者に対し平等に接するとともに対処した。また、市民サービスの向上に関する取り組みにおいては、主に会議室等の貸出しや利用に関する案内、電話での受け答えなど丁寧な対応に努めるとともに、掲示等を工夫し、分かり易く表示するなど、施設利用者の立場に立った接遇を心掛け、常時、施設を気持ちよく利用できる環境づくりに取り組むことができた。利用促進に関する取り組みについては、施設PRを積極的に実施し、懸案事項であった多目的実習室と和室の更なる利用促進に寄与した。 ②経費削減に関する取り組み グリーンカーテンの設置やこまめな消灯等によりエネルギー使用を抑える取り組みを実施した他、消耗品等の購入においては、十分な検討を行い、支出を必要最低限に抑制した。 ③魅力ある施設運営に関する取り組み 施設の利用案内や農業PRなどの情報を館内デジタルサイネージで発信したり、市報・HP・SNS・チラシ・他メディアを活用した情報発信を行い、施設の認知度をさらに向上させる取り組みを定期的に行い、魅力ある施設運営を行った。 2 総合評価 市民サービスの向上、施設利用促進に前向きに取り組む、自主事業においても更に結果を出している。また、管理運営についても概ね仕様書・事業計画等に沿って実施できた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

市民サービスの向上、施設利用促進に関する取り組みのより一層の充実化を図るとともに「花畑等屋外施設」についても適切な管理を継続し、利用者から「好感が持てるエリア」になるよう尽力願いたい。 また、常時課題解決を図りながら、施設の更なる適正な管理運営に努めてもらいたい。
